



各位

平成19年11月6日

会社名 福留ハム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中島 修治
 (コード番号 2291 東証2部)
 問合せ先 経理部長 明石 嘉典
 (TEL 082-278-6161)

平成20年3月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月17日の決算発表時に公表した平成20年3月期中間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	16,100	260	230	△ 80
今回修正予想 (B)	15,920	13	8	△ 208
増減額 (B-A)	△ 180	△ 247	△ 222	△ 128
増減率 (%)	△ 1.1	△ 95.0	△ 96.5	-
(ご参考)				
前期実績(平成19年3月期中間)	16,382	85	78	9

2. 平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	15,900	230	220	△ 80
今回修正予想 (B)	15,750	5	25	△ 233
増減額 (B-A)	△ 150	△ 225	△ 195	△ 153
増減率 (%)	△ 0.9	△ 97.8	△ 88.6	-
(ご参考)				
前期実績(平成19年3月期中間)	16,221	90	103	36

3. 修正の理由

(1) 個別業績予想の修正理由

当中間期の売上高については、加工部門は全般的に数量、金額共好調に推移しました。食肉部門におきましては、商品市況の高値による需要の減退により、前回予想より微減の見込みとなりました。

しかしながら、利益面では食肉加工品の主原料であります輸入豚肉価格が当初予想より高騰したことや原油価格の高騰による包装資材の上昇等のコスト増加要因により原価が上昇しました。また、第1四半期で特別損失として役員退職慰労引当金を一括計上しております。

その結果、営業利益、経常利益および中間純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

(2) 連結業績予想の修正理由

主には個別業績予想の修正によるものです。

(3) 平成20年3月期通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想は、平成19年5月17日に公表しました通りであります。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。